

2014年2月14日

全国大学国語教育学会
2013年度 学会通信 第2号

全国大学国語教育学会事務局

◆第126回 名古屋大会のご案内（第1次）

名古屋大会実行委員長・佐藤洋一（愛知教育大学）

■第126回大会の開催日程、場所等は以下の通りです。

開催日 2014年5月17日（土）、18日（日）

場所 「ウインクあいち」（愛知県産業労働センター）9～10階・各会議室
（〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

◆編集委員会・常任理事会

5月16日（金）「ウインクあいち」13階・特別会議室1305（同上）

■大会2日間の概要（予定）

<第1日目 5月17日（土）>

午前：自由研究発表（9～10階・各会議室）

昼：理事会（9階・会議室）

午後：総会（5階・小ホール）

パネルディスカッション（5階・小ホール）

テーマ：外国人児童生徒と学ぶことで拓がることばの世界（仮題）

コーディネーター：中田敏夫（愛知教育大学・国語教育講座）

登壇者：細川英雄、府川源一郎、小塚良孝、愛知県知立東小学校教諭

懇親会：「ウインクあいち」（5階・小ホール）

<第2日目 5月18日（日）>

午前：課題研究発表（5階・小ホール）

－話すこと・聞くことの将来と国語科教育の課題－

コーディネーター：河野順子

登壇者：丸野俊一、山元悦子、長田友紀

午後：自由研究発表（9～10階・各会議室）

公開講座

国語の授業づくりと評価を考える～学びをどう見取るか

コーディネーター：藤原 顕

登壇者：交渉中

■大会プログラム・大会要項発送

後日、JTBより送付される予定です。

◆第126回 名古屋大会・自由研究発表者の募集について

名古屋大会実行委員長・佐藤洋一（愛知教育大学）

1. 募集区分 自由研究発表

会場規模等の諸事情により、名古屋大会ではラウンドテーブルは開催いたしません。

2. 「自由研究発表」の申し込み手順

- (1) 往復葉書による申し込み(A)、もしくはインターネットによる申し込み(B)のいずれかを選んでお申し込み下さい。記載(入力)事項の不備等の場合は、申し込み受けができない場合がありますので、十分ご注意下さい。

(A) 往復葉書による申し込みの場合

往復葉書(往信面)に次の事項をご記入のうえ、申し込んで下さい。

- ①発表題目(申し込み後の変更は不可)
- ②氏名(ふりがなを必ずつける)
- ③所属等(所属、職名、電話番号、メールアドレス)
- ④住所、電話番号、緊急時連絡先(携帯電話)
- ⑤プロジェクト使用希望

プロジェクト使用希望者は、必ずご記入下さい。パソコンは発表者持ち込みです。

プロジェクトは会場からお借りする形です。接続の準備時間も発表時間を含みます。

***返信葉書には、ご自分の郵便番号、住所、氏名を必ず記入して下さい。**

(B) インターネットによる申し込みの場合

以下のURLにアクセスし、①～⑤について入力のうえ、送信して下さい。右のQRコードからもアクセスできます。

<http://goo.gl/3iUX6M>

- ①発表題目(申し込み後の変更は不可)
- ②氏名(ふりがなを必ずつける)
- ③所属等(所属、職名、電話番号、メールアドレス)
- ④住所、電話番号、緊急時連絡先(携帯電話)
- ⑤プロジェクト使用希望



QRコード

プロジェクト使用希望者は、必ずご記入下さい。パソコンは発表者持ち込みです。

プロジェクトは会場からお借りする形です。接続の準備時間も発表時間を含みます。

***自動返信メールを必ず確認して下さい。メールアドレスが正しく記入されていないとメールが届きません。自動返信がない場合は、再度記入して送信して下さい。**

(2) 申し込み先(名古屋大会事務局)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学・国語教育講座 丹藤博文 宛

(3) 発表申し込み締め切り(往復葉書・インターネット申し込みともに)

3月14日(金)名古屋大会事務局 必着

***発表日の指定はご遠慮下さい。この日を過ぎますと上記URLへはアクセスできません。**

***会場の許容数に達した場合は(最大で80名)、大会事務局の判断により発表をお断**

りさせていただく場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

(4) 発表要旨集の原稿締め切り

4月15日(火) 名古屋大会事務局 必着 送付先は上記(2)と同じ。

*締め切り後のものについては、題目・所属・氏名のみの掲載となります。

*要旨のテンプレートは、学会ホームページ(<http://www.gakkai.ac./JTSJ/>)の「テンプレート集」にあります。要旨は4ページ以内でお願いします。なお、プリントアウトしたものを一部郵送して下さい。これまでと同様に、プリントアウトされたものをそのまま製本し要旨集を作成いたします(メール添付不可)。

(5) 大会全般についての問い合わせ先

愛知教育大学・国語教育講座 丹藤博文

E-mail : h-tandoh@aeu.ac.jp

◆『国語科教育』第76集 投稿募集について

第76集編集委員会

1. 投稿論文は、2014年3月1日(土)から3月31日(月)(消印有効)までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
全国大学国語教育学会事務局
電話 : 03-5389-3012
3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。

『国語科教育』投稿要領

- 1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。なお、他誌に投稿する論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
- 2 募集枠は、以下に示す「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし採択の枠付けは、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
研究論文：独創的な知見を含む学術研究
実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。
資 料：国語教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの
- 3 連続掲載は、原則として2回までとする。
- 4 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてパソコンを使用する。
- 5 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰

原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。

(1) 横書きの場合

23字×44行×2段（1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。）

(2) 縦書きの場合

33字×31行×2段（1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目氏名のスペースとして7行2段をとる。）

* 学会ホームページに記載している、投稿原稿用のテンプレートを使用すること。

* 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。

* 図表は本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示することとし、縮小率は8割以上とする。

6 原稿は以下の体裁で整えること。

(1) 論文本体

* 論文には氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないこと。

(2) 注（ただし、引用のための注はつけない）

(3) 参考文献

* 論文本体や注、参考文献に「拙稿」「拙著」など、投稿者名が判明するような記述を行わないこと。

7 投稿に際しては以下のものを同封する。

(1) 電子媒体（OS名と作成ソフト名を記載すること）

(2) 打ち出し原稿4部（複写でよい）

(3) 投稿者情報（A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先（電話番号、Eメールアドレス、住所）、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの）

なお、提出物は原則として返却しない。

8 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。

9 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆学会発表および学会誌投稿の資格について

全国大学国語教育学会事務局
年2回の学会および学会誌刊行は学会活動として行われていますので、自由研究発表・ラウンドテーブルへのお申し込み、および、学会誌への投稿は会員資格を必要とします。新しく入会を希望される方は、入会までに一定の期間を要するため（常任理事会での承認・当該年度の会費納入）、発表申し込みおよび投稿の時期にお気をつけください。また、現会員の皆様におかれましては、会費滞納による会員資格停止の規定がございます点、どうぞご留意ください。

◆2013年度第2回総会議事録

1. 2014年10月26日(土) 13時30分から14時30分
2. 場所 広島大学教育学部講義棟 K 棟2階 K201教室
3. 次第

総会に先立ち、広島大会開催状況について吉田大会委員長より、事前申し込み340名、当日申し込み95名の計435名(懇親会 140名)であることが報告された。

塚田理事長挨拶に続き、総会議長として藤井知弘氏が選出された。

I. 議事

1) 126回大会以降の予定

126回 名古屋大会(大会事務局・愛知教育大)14年春(佐藤洋一大会実行委員長より)
2014年5月17日(土)、18(日)にウイנק愛知で開催。

なお、自由研究発表は会場の都合上80名を上限とする。ラウンドテーブルは実施しない。課題研究・パネルディスカッションは実施するが内容は検討中。公開講座は実施する。

127回 滋賀大会(大会事務局・滋賀大学) 14年秋

128回 兵庫大会(大会事務局・兵庫教育大学)15年春

129回 交渉中 15年秋

130回 新潟大会(大会事務局・新潟大学) 16年春

II. 報告

1) 大会プログラムについて

2日目の午後の公開講座はどう実施すべきかを今後さらに検討する旨が報告された。

2) 『国語科教育』第75集編集状況

松崎編集委員長より次のように報告された。

- 1 投稿28編中、研究論文24編、実践論文4編。
- 2 採択1編、修正採択7編、修正再審査3編、書評2編、シンポジウムも掲載
- 3 3月末に次号刊行予定
- 4 次期編集委員長は中村敦雄氏に決定。

3) 全国大学国語教育学会優秀論文賞について

植山選考委員長より、73集・74集から検討されたことが報告された。その結果、73集の峰本義明氏「小集団討議の活性化が読解方略の伸長に及ぼす効果：ファシリテーション・グラフィックを活用した『ころ』の授業実践を基に」が選定された。

4) 研究部門報告

山元部門長より次の報告があった。

- 1 新委員による事業 課題研究、公開講座を実施する。
課題研究 3大会連続で進める。
- 2 出版物の刊行 課題研究の刊行物は今年度末には刊行予定
公開講座のブックレットも刊行
- 3 委員の交代

5) 広報部門報告

鶴田部門長より、学会ホームページに、学会刊行物のコーナーをもうけて、成果と展望2のPR掲載することが報告された。

6) 「女性研究者支援委員会」(仮称)について

希望を会員に募ったところ、希望はなし。しかし、他学会などの情報提供はあった。今後再び、検討のうえ情報を募る予定。

7) 理事等の選挙について(所属地区の原則について)

選挙の地区は、所属先で決定することを確認した。

8) 『国語科教育学研究の成果と展望 II』について

望月編集委員長より、刊行の報告があり、現在460冊販売したとの報告があった。

9) そのほか なし

◆学会事務局からのお知らせ

全国大学国語教育学会事務局

(1) 『国語科教育学研究の成果と展望 II (2010年版)』の会員価格での販売継続について

同書の本体価格は5000円(税込5150円)ですが、会員に限り3500円(税込3675円、送料無料)で受け付けます。ご希望の方は以下の情報を添えて学芸図書(下記)までご連絡ください。

(1)お名前、(2)ご住所、(3)電話番号・メールアドレス、(4)ご希望冊数
メールでも受け付けるとのことです。

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1

学芸図書株式会社 TEL 03-3291-3023 FAX 03-3219-6112

担当 神戸 (Email: kanbe@lion.ocn.ne.jp)

(2) 次期体制について

現在、次期学会体制に向けて各種選挙が行われております。新体制の詳細、また来年度以降の大会開催については新年度早々に通信、ホームページを通してお知らせします。

◆新入会員のお知らせ(受付順、敬称略)

*PDF版では、省略

全国大学国語教育学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

電話 : 03-5389-3012

jtsj-post@iap.bunken.co.jp